

ART における胚の質向上を目的とした柴苓湯服用の効果

清野 頼十¹、山内 博子¹、中岡 義晴¹、森本 義晴²

¹IVF なんばクリニック ²HORAC グランフロント大阪クリニック

【目的】

ART において胚の質は妊娠成績を左右する重要な因子の一つである。近年、胚の質を向上する目的で抗酸化作用をもつサプリメントなどを摂取することが試みられている。柴苓湯は 12 種類の生薬から構成されており、内因性ステロイド増強作用、水分代謝調節作用および抗酸化作用など多数の薬理作用を持っていることが知られている。そこで、採卵前より柴苓湯を服用し、卵胞の発育や胚の質に対する効果を検討した。

【方法】

2016 年 9 月から 2018 年 3 月に AMH 5 ng/ml 以上で当院にて初めて採卵を行う症例のうち GnRH antagonist 法を実施した 56 例(柴苓湯服用群)を対象とした。柴苓湯服用の効果を確認するため、柴苓湯服用群と同様な症例で柴苓湯を服用せずに GnRH antagonist 法を実施した 51 例(対照群)と比較した。柴苓湯服用群では採卵を行う前の周期から採卵周期の HCG 投与日まで柴苓湯エキスを細粒 8.1g/日を服用した。両群において獲得卵子数、成熟卵子数、受精率、良好胚率、胚盤胞発生率および良好胚盤胞率について比較検討を行った。

【成績】

獲得卵子数および成熟卵子数は両群において差はなかった。受精率は、c-IVF では両群に差がなかったが、ICSI では柴苓湯服用群のほうが高かった。また、良好胚率および良好胚盤胞率は柴苓湯服用群のほうが高く ($p < 0.05$)、胚盤胞発生率は柴苓湯服用群で高い傾向があった($p = 0.052$)。

【結論】

本検討では採卵前に柴苓湯を服用することにより、良好胚率と良好胚盤胞率を高め、胚の質を向上させることが出来た。また、柴苓湯服用による有害事象の発現はなかった。そのため、ART において採卵を行う前に柴苓湯を服用することは、挙児を獲得するための有益な選択肢の一つになると考えられる。